

生徒指導通信

令和元年度 11月号

青森県立大間高等学校 生徒指導部

令和元年 11月29日(金)発行

Vol. 7

部員：中野渡・藤本・沢田・藤原

「ない」ことが自慢になる時代？

少し前にインターネットで話題になっていた、とあるバラエティ番組に寄せられた投稿を紹介します。投稿者は四十歳の男性で、「この歳でデイズニールランドに一回も行ったことがないのは自慢になりますか？」という内容。これに対し、その番組に出演していた芸人が、「そんなものが自慢になると思う人がいるなんて……。昔は『行ったことがある』『知っている』というのが自慢になったが、今は逆に、『行ったことがない』『知らない』というのが自慢になる時代だ」ということを言っていたそうです。これを聞いて私は、色々なことを考えさせられました。

少し話は変わりますが、最近「ミニマリスト」と呼ばれる人たちが話題になっていました。「ミニマリスト」とは「持ち物をできるだけ減らし、必要最小限の物だけで暮らす人。自分にとって本当に必要な物だけを持つことのでかえって豊かに生きられるという考え方で、大量生産・大量消費の現代社会において、新しく生まれたライフスタイルである。(「トバンクより」とのこと。かつて戦後日本は、「三種の神器(白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫)」や「3C(カラーテレビ・クーラー・車)」など、「持っていることがうらやましがられる時代」でした。しかし、モノや情報があふれ、「持っている」ことが当たり前になった現代は、逆に「持っていないことがうらやましがられる時代」になっているのかもしれない。とはいえ、時代が変わったとしても、形のあるなしに関わらず「大切なもの」というのは必ずあるのではないのでしょうか。確かに現代では、インターネットで少し検索すればすぐに知識を手に入れることができますし、映画やコンサートも、家庭にいながらにしてDVD等で見ることができます。「アングラアース」等を使えば、行ったことがない場所にも行ったような気分になれます。しかし、どんなに世の中にモノがあふれ、インターネットやAIが発達しようとも、「自分で直接体験・経験したこと」の価値は色あせることはないはずです。特に皆さんのように、多感な十代の頃に経験したことであればなおさらです。少なくとも、**「これからの社会を生きていく皆さんには、『本なんて読まない』『努力なんてない』といった、『〇〇ない自慢』をするような人になってほしくない』**、と強く思っています。

さて、今回の期末考査はどうでしたか？まさか「勉強？全然やってないよー笑」なんて言う、「勉強してない自慢」はいまませんよね？

(文責：中野渡)

新生徒会執行部がスタートしました！

10月31日(木)5校時、青森県選挙管理委員会の加藤啓様をお招きして、選挙出前講座を実施しました。選挙のルールや意義について学んだ後、6校時に生徒会役員選挙を実施、2年生を中心とした新生徒会役員が決まりました。11月1日から来年度の10月31日まで、以下のメンバーで生徒会行事に当たります。よろしくお願いします！また、3年生の旧生徒会役員の皆さん、今まで本当にお疲れ様でした。

生徒会長	松本 陽向 (2年)
副会長	熊谷 静奈 (2年)
	柴垣 銀次 (1年)
書記	山本 香音 (2年)
	竹内 彩花 (1年)
会計	山本 壮希 (2年)
	伊藤 美汀 (1年)
部員	蝦名 莉結 (1年)
	竹内真那斗 (1年)



役員任命式



新メンバー

今年もあとわずか！

2019年も残すところあと1ヶ月です。やり残したことはありませんか？授業の課題等、今年のことは今年のうちに。また、皆さん年末には大掃除をするかと思いますが、学校も同じです。きれいな状態で新年を迎えられるよう、**自分の机周りや教室、ロッカーの中等を整理整頓して下さい。**



12月の予定

8日(日)	2学年修学旅行(～12日)
13日(金)	2学年代休
18日(水)	午前 月⑤⑥水③
	午後 球技大会(～19日)
20日(金)	大清掃・2学期終業式
21日(土)	冬季休業(～1月13日)